

---

# Multi-Enterprise Finance Gateway 4.2

## B2B for Multi-Enterprise Collaboration, Finance 新機能ガイド

ドキュメントバージョン 1.00

<p>www.sterlingcommerce.co.jp Tel: 03-5408-8500 Fax: 03-5408-8510 japan_marketing@stercomm.com</p>	
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

### 目次

リリースの概要.....	3
金融およびビジネスの分野におけるスタンダード.....	4
アドバンスド ファイル転送 .....	4
Sterling Integrator 4.2 での更新 .....	5
レポート サービス .....	5
Sterling Control Center との統合 .....	6
ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) のサポート .....	6
システム データの暗号化.....	6
Odette FTP アダプタ .....	6
JVM のサマータイム .....	7

マルチエンタープライズの世界へようこそ。

金融業界の IT B2B 実装にスタンダード ベースの効率的な SOA ソリューションをもたらすスターリング コマースの Multi-Enterprise Finance Gateway をご紹介します。

金融機関とその外部の間のビジネスドキュメント交換における主なパイプとしての役割を担う Multi-Enterprise Finance Gateway には、金融業界で使用されている広範なスタンダードおよびプロトコルが組み込まれています。スターリング コマースは、これらの機能を自信を持ってお届けします。

このドキュメントでは、Multi-Enterprise Finance Gateway の優れた機能について説明します。これらの機能は、ビジネスの成長に大きく役立ちます。

### Multi-Enterprise Finance Gateway の概要

Sterling Integrator 上に構築された Multi-Enterprise Finance Gateway は、ドキュメント交換およびメッセージトランスレーションの両面における企業の俊敏性 (エンタープライズ アジリティ) を目的に設計されています。企業にとって、俊敏性は、ビジネス パートナーおよびカスタマとの円滑な同期のために不可欠です。グローバルであるかローカルであるかに関係なく、パートナーやカスタマの必要に応じて、必要とされるものを提供する必要があります。

このような B2B コラボレーションは、成功のキー コンポーネントです。多くの企業は、パートナーシップの価値を最大限に活用するために緊密な関係を必要としています。その基盤となるインフラストラクチャは、この関係のニーズをサポートするだけでなく、強化するものである必要があります。

これまで、B2B は、手動処理の排除または自動化によってコストを削減する方法として主に用いられてきました。今日、多くの先進企業は、ビジネスで高度な可視性を実現する B2B 技術のデプロイを推進し、持続性のある優位性で競争を勝ち残って収益を伸ばそうとしています。

スターリング コマースの集大成である Multi-Enterprise Finance Gateway は、御社のビジネスとビジネス パートナーのビジネスで高度な可視性を実現します。

## 金融およびビジネスの分野におけるスタンダード

スターリング コマースの Multi-Enterprise Finance Gateway には、金融業界で必要とされるスタンダードがパッケージ化されています。

### 金融業界のスタンダード

- ACH 2006
- BECS (オーストラリア)
- EBA Step 2
- FIXML
- FpML
- FpML
- IFX
- OFX
- TWIST
- SWIFT
- FIN MT メッセージ (2005 & 2006) - ISO 15022
- スタンダード MX メッセージ - ISO 20022
- SWIFTNet ソリューション:
  - Cash Reporting
  - Corporate Actions
  - Errors & Investigations
  - FUNDS
  - Trade Services Utility
- TARGET2

### ビジネス (Horizontal)スタンダード

- CB2XML (Copybook to XML)
- CII
- データベース
- EDI ANSI x12
- EDIFACT (AUTACK を含む)
- フラット ファイル
- XML (DTD およびスキーマ用)

## アドバンスド ファイル転送

ファイル転送指向のビジネスにおける問題に対応するためのコア機能として、Multi-Enterprise Finance Gateway には AFT (アドバンスド ファイル転送) が組み込まれています。強力な AFT ルーター アプリケーション内に実装された AFT は、2 つの代表的なカスタマ シナリオに対応することを目的に設計されています。

- マルチエンタープライズ コンテキストにおける巨大なグローバル組織内の大規模な “ドアツードア” のファイル交換 — 世界各地に分散した数千ものパートナーで構成されるパートナー ネットワークの中で自社組織の複数の事業単位を維持するには、迅速なパートナー オンボーディング、変更管理、および広範なファイル転送プロトコルのサポート機能が強化された ”次世代” ファイル転送ソリューションが必要です。

## Multi-Enterprise Finance Gateway 4.2 – 新機能ガイド

- 非常に大規模な電子ドキュメント交換“ハブ”への中小企業の対応 — 一般的な“スポーク”コミュニティメンバーは、軽量のデータ交換を必要とする接続ユーザーです。スポークコミュニティメンバーには、大規模な小売ネットワークを持ち、安全で信頼できる定期的なファイル交換を必要とする主要メーカーなどが含まれます。

### Multi-Enterprise Finance Gateway の機能

- 高度なセキュリティ
- Connect:Direct および セキュア インターネット プロトコル (メッセージ指向ミドルウェアへのブリッジ)
- 高度なメールボックス管理
- データ変換およびトランスレーションが可能なプロセスドリブンおよびイベントドリブンの情報フロー
- サービス指向アーキテクチャに基づいた拡張性の高いフレームワーク
- パートナーの集中管理および可視性

## Sterling Integrator 4.2 での更新

Sterling Integrator 4.2 に対して行われた以下の更新が、Multi-Enterprise Financial Gateway を強力にサポートします。

## レポート サービス

レポート サービスは、ビジネスの要件に合わせてデータを定義して視覚的に表現できる Sterling Integrator のツール セットです。レポート サービスを使用すると、セカンダリ データベースでレポート処理を実行できるので、Sterling Integrator サーバーでオペレーション処理を行って、可視性とレポートを個別に機能させることができます。

レポート サービスは、以下の機能を提供します。

- 履歴レポートおよび最新のオンライン ダッシュボードを作成するためにデータを明示的に収集して管理するインフラストラクチャ。
- 長期間にわたってレポート データを簡単に保持できる機能。
- コリレーション テーブルの代替。
- 編集可能なシステム レポートおよびオペレーション レポートの新しいセット。
- EDI およびその他のトランスレーション オペレーションのオーディットトレイルを作成するために使用できるインフラストラクチャ。

レポートとダッシュボードに加えて、レポート サービスによって収集されたデータは、エクスポートして OLAP (オンライン分析処理) で使用することや、既存のデータウェアハウスに取り込むことができるだけでなく、Cognos や Business Objects などの主要なビジネス インテリジェンス製品のデータソースとして使用することもできます。

## Multi-Enterprise Finance Gateway 4.2 – 新機能ガイド

レポートサービスは、増益につながる優れた意志決定を迅速に行うための技術レポート、統計レポート、およびビジネスレポートを作成するために使用できるインフラストラクチャを提供します。

### Sterling Control Center との統合

Sterling Control Center には、Sterling Integrator をネットワークの一部として監視および管理する機能が含まれています。この機能を使用すると、このネットワークで Multi-Enterprise Finance Gateway を最大限に活用できます。

Sterling Control Center を使用して Multi-Enterprise Finance Gateway およびその他の Connect:Direct ノードの Connect:Direct のトラフィックを監視できます。また、Sterling Control Center の管理機能を使用して、Multi-Enterprise Finance Gateway が実行している内部プロセスを監視することや、失敗した処理またはその他のイベントの通知を行うこともできます。

### ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) のサポート

ハードウェア セキュリティ モジュール (HSM) は、暗号鍵を生成、保存、および保護するハードウェア ベースのセキュリティ デバイスです。このメカニズムを使用することにより、ソフトウェア メカニズムではなく、ハードウェアによって暗号化鍵を緊密に管理することができます。Multi-Enterprise Finance Gateway は、SafeNet Eracom ProtectServer Orange External および ProtectServer Gold をサポートします。

### システム データの暗号化

Multi-Enterprise Finance Gateway では、データを自動的に暗号化してファイル システムに安全に格納し、転送またはトランスレーションのためにファイルへのアクセスが行われたときにデータを自動的に復号化することができます。

データを暗号化してファイル システムにファイルを保存することにより、処理待ちデータの一時ストレージに関連する潜在的なセキュリティの問題を排除することができます。待機中のファイルを処理する場合は、Multi-Enterprise Finance Gateway によってファイルが自動的に復号化されます。

### Odette FTP アダプタ

Odette FTP アダプタは、すべての Multi-Enterprise Finance Gateway プラットフォーム上で Multi-Enterprise Finance Gateway との OFTP 通信をネイティブにサポートする新しいアダプタです。このアダプタは、ISDN を介した OFTP 1.2 プロトコルを基盤となる通信プロトコルとして使用し、トレーディング パートナー間のポイントツーポイント通信をサポートします。Odette FTP アダプタは、完全な OFTP および CAPI プロトコル スタックを実装します。

現在 OFTP アダプタを使用している場合、このネイティブ Odette FTP アダプタを無償で入手できます。

米国の 2005 年のエネルギー政策法 (Energy Policy Act of 2005) により、米国のサマータイムの期間が改訂されました。2007 年から、米国のサマータイムは、3 月の第 2 日曜日から 11 月の第 1 日曜日の期間に変更されます。従来のサマータイムは、4 月の第 1 日曜日から 10 月の最終日曜日の期間でした。

サマータイムの期間の変更により、古いオペレーティングシステムおよび Java プラットフォームの時間またはタイムゾーンの機能を使用するソフトウェア製品では、3 月の最後の 3 週間および 11 月の最初の週に不正確な時刻がレポートされる可能性があります。この変更は、スターリング コマースの製品を含む多くのソフトウェア製品に影響します。

この問題が最も大きく影響するのは米国のカスタマですが、米国のタイムゾーンに合わせてソフトウェア デプロイメントを設定している米国外のカスタマにも影響します。

Multi-Enterprise Finance Gateway は、サマータイムの変更に対応した Java 仮想マシン (JVM) をサポートします。3 月からのサマータイムへの変更が行われる前に、Multi-Enterprise Finance Gateway のインストールまたは Multi-Enterprise Finance Gateway への移行を行うことをお勧めします。